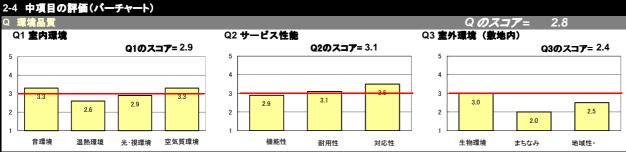
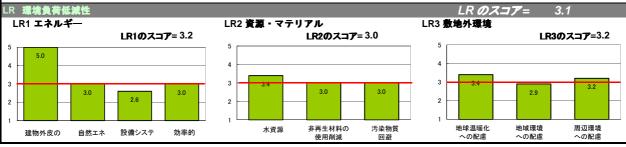
▮評価結果

__ 築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0









3 設計上の配慮事項		
特になし		その他 特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
内装材はほぼ全面的にF☆☆☆を使用		特になし
LR1 エネルギ ー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPml=0.76、BEIm=0.87	節水型器具の採用により水資源の保護に配慮している	LCCO2排出率=96%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

- ■C: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率) ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される